

ASEAN Young Women Leadership Program 第3回レポート

経営学部 4年 相川 陽香
2年 町田 夕樹

お久しぶりです。ミャンマーに滞在して1ヶ月と少し経過しました。フィリピンで習得した生活の知恵でこちらでは思ったより快適に生活できています。交通機関を使うのが怖いと感じたり、人と話す事に対抗を感じ外出できないという感覚もなく自分たちの中で少し成長したなと思うことが多くなりました。東南アジアで暮らしていくうちに以前の私たちよりも強たくたくましくなったと思います。



ミャンマーの印象は、落ち着いている国だと感じました。仏教国ということもあり若干日本に似ていると思います。多くを話さない人柄や会話にがつがつした印象を感じさせない所は、私にとって接しやすく人との距離がとりやすい環境だなと思いました。性格もみんな暖かく面倒見が良いと感じます。目が合えば微笑む環境はフィリピンの時も同じですが心が穏やかになる気がします。

昔の日本を私は知りませんが、両親から聞いた話を想像してみるとミャンマーは昔の日本の様な雰囲気なのかなと感じました。周りの人が助け合って生活し、時間をあまり気にしない文化は私にとって新鮮だけど、どこか少し懐かしい気分にもなりました。しかし、急成長を遂げている国でもあるため昔懐かしの町並みの中に立派な高層マンションが建っていたり、大型マーケットができたりと現代を感じさせるものがあり不思議な感覚です。首都で暮らしているせいもありますが便利で不自由を感じさせない環境が整い始めているのだなと思いました。

学校は、ヤンゴン大学の法学部で勉強しています。現地の2年生に混じって授業を受けています。法学は今まで触れたことがなかったため、日本語でさわりだけでも勉強しておけばと少し後悔することがあります。商法、契約法を学んでいます。新しい知識を学べるのは楽しく勉強になります。また、英語での授業と聞いていましたが7割ミャンマー語での授業のため少し複雑な気分になるとことがあります。グループワークで言葉を理解できないまま事が進んでしまうととても悲しいです。発表もミャンマー語なので理解に苦しむことが多いです。しかしその中でも、英語を使ってくれる学生もいてそのクラスメイトと仲良くしています。海外から来た人に偏見を持たずに接してくれて有り難がたく、人の温かさを感じました。日本に来ている留学もこんな気持ちなのかなと思いました。自分が留学生になってみて初めて気持ちが分かりました。先生は時間通りには来なくいつも少し待つというのはお決まり事項であり東南アジアの特徴だと思いました。セメスターが始まる前にもたつき時間割が出るまで数回学校に通いましたがなかなかスムーズに受け取ることができませんでした。授業がいつ始まるのかも分からず確かめに行っても明確にはならないという事があってそこは少し衝撃を受けました。相手をせかして場を悪くするよりも許容範囲内で現地のペースに合わせてみるのもありなのかなと思いました。フィリピンで学んだことがこちらで生かしている気がします。

現地の人と同じ生活をして不自由な環境に慣れながらも自分たちでできる事を見つけて暮らしを改善していくのも生きる術だと思いました。